

## 令和6年鋸南町教育委員会第13回定例会議事録

1. 日 時 令和6年12月19日（木）午後2時00分～午後4時15分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永 安男 教育長職務代理者 山野 正人  
委員 篠原 恭恵 委員 伊藤 尚徳
4. 出席職員 教育課長 安田 隆博 主任指導主事 助川 孝浩  
教育総務室長 福原 規生 生涯学習室長 山口 東子
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が山野委員を指名
7. 議事録の承認 令和6年11月21日開催の第12回定例会議事録について承認

### 8. 教育長の報告

それでは、教育長の報告をさせていただきます。大きく2点お話ししたいと思います。

1点目ですが11月30日の校長会の資料を見ていただきたいと思います。1つ目のコミュニティスクールは、会議としては年3回の小中学校運営協議会があるわけですが、2回目は教育の日に学校の様子を見ていただき、3回目は2月に予定しております。

会議はこの各運営協議会ですけど、活動が大事であり、それは地域学校協働活動となりますが、最たるものはふるさと教育と放課後子ども教室です。放課後子ども教室は、今年度は、特に「ザ鋸山」と「大人の修学旅行」は新たな試みで関心しております。その他にも継続でやっているものもございしますが、より一層来年度充実をさせていきたいと考えております。

2つ目の安房地区の高校の存続についてですが、ご承知のとおり、令和7年度、安房拓心高校が4から3学級になります。しかしながら実業高校ですので、5系列を3クラスで

運営することになります。現在、安房の中学生は、2,318人です。今年度でそのうちの中学3年生は843人。したがって、来年以降の3年生新3年生2年生、1年生から700人台だということです。これが、令和16年になると、半分になってしまいます。中学生が1,100人ですよ。各学年で均等割しても400人足らずの中学3年生となります。それに加えて私立の西高等学校が評判良くて、このところ80人程度の生徒が行っており、さらには鴨川令徳もあります。できるだけ維持できるよう中学の校長会、教育長たち4人が頑張っていますが、厳しい状況です。安房拓心高校は、来年度、5系列で運営するそうですから100人入ったとしても、一つのコースで20人規模だということになり、少人数学級で運営するしかありません。

3つ目、安房地区の小中学校の学校再編計画につきましては、館山市におきましては令和13年度までに中学校1つ、小学校は多くても4つという方針が出ております。鴨川市においては3、4年後を目指して鴨川小、西条小、田原小を1つにしていこうとしています。隣の南房総市では、3年後、富山学園、富浦中を一つにしたいという事務局の計画だそうです。したがって現在小学校24校、中学校が12校ありますが、3年後には中学校は11、6年後には小学校が18ということになります。鋸南町は再編の必要がありませんので、厳しいけどやれるうちはやっていきたいと思っております。そんな状況です。

最後4つ目、部活動の地域移行については、なかなか進みません。鋸南町においても課長を筆頭に、いろいろやっていただいておりますが、とりあえず土日の休日の地域移行を目指して今粛々とやっているところであります。そういった中で、神戸市は学校部活動をやめるそうです。スポーツ系、文科系で全部です。それを地域に移行すると言っていますが難しいと思います。難しいと思いますし、本来の中学校教育の意義がそれでよいものなのかと思い、私はそっちを心配しています。中学校教育のいいところは、やはり文武両道、体を鍛える心を鍛え、頭を鍛えるところが中学校教育です。それが頭だけ鍛えていいのかという問題があります。今そういった中学校教育の岐路にかかっているということです。以上簡単ですけど現在の教育課題についてお話をいたしました。

続いて2点目ですが、全国の不登校の長欠不登校の生徒が、過去最多の34万人を超えたことです。その理由は、以前から無理して学校行かなくてもいいという風潮はありましたが、さらにコロナ禍を経て、さらに保護者の後押しもあり、その意識が強まったのではと文科省の担当者は見ているようです。

またいじめの件数も増えています。そういった中で、千葉市は30年度の開校目指して、不登校の中学校を作ろうとしております。なんと長欠児童が2,142人ですね。年間30日以上のお休みを数えると長欠ということです。鋸南町の長欠は中学生で6人、小学生が1人です。千葉市は学校が増えて、小学校は110校、中学校は半分で55校です。そんな中で総計が2,000人を超えるってことはすごいことだなと思いますよね。千葉市長はそういった理由で、先の総合教育会議で決定したそうです。そんなことが千葉県の様子ですが、鋸南町としても、遅れることなく対応していきたいと考えております。

以上で教育長の報告をさせていただきました。

## 9. 報告事項

### (1) 行事の後援の承認について

- ・ 福原教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降3件だった旨、報告がなされた。

### (2) 各担当からの報告について

#### ① 助川主任指導主事から、各学校の様子、行事についての報告・説明がなされた。

(質疑等)

- ・ 篠原委員から、「バレー団や日本舞踊の公演等、貴重な体験になるのでできるだけ多くの子どもたちが参加できるとよい。また、読み聞かせ研修会も大変良い研修だったので、若い先生方にも研修参加できるといいのでは」との意見に対し、助川主任指導主事から「学校に情報提供したところ積極的に応募してくれて体験の機会を持つことができました。学校も情報発信はしてくれて、日本舞踊の時には、地域の方も20名程度参加してくれ良かったと思います。若い先生の研修は学校の体制として教員の数が少なく、研修に参加させてあげられない状況です。」との答弁がなされた。

富永教育長から「一流のものを生徒たちに触れさせたいと思っているので良い機会になったと思います。」との答弁がなされた。

#### ② 山口生涯学習室長から、放課後子ども教室について、生涯学習室関係のイベントについて、資料館の特別展について、報告・説明がなされた。

#### ③ 福原教育総務室長から、幼稚園で行われた読み聞かせ会、全国親子読書推進講座

について報告・説明がなされた。

- ④安田教育課長から、職員募集、教育施設の年末年始の休業予定、12月の鋸南町定例会での教育課関連の一般質問についての報告・説明がなされた。

## 10. その他

- ①福原教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

- ②富永教育長から、3月定例会日程について協議があり、13日木曜日中央公民館で開催することに決定した。

- ③全体を通しての質疑として

- ・篠原委員から、「日本遺産への、今後の取り組みや計画についてどうなるか」との質疑に対し、

山口生涯学習室長から「日本遺産のストーリーについて、コンサルに依頼し、今後の戦略についてアドバイスをもらい、今年度中にまとめたいと考えています。」との答弁がなされた。

安田教育課長から「今年度、すでに補助金がありませんので富津市と鋸南町で

150万円ずつ負担し事業を行っております。今後申請するにも今までのものの見直しが必要ですので、内容を精査しているところです。来年度の事業につきましては、日本遺産になるためにやっておかなければならないもの、いままでと同様に継続していかなければならないものを精査して実施していく予定です。」との答弁がなされた。

- ・篠原委員から、「ふるさと学習について、小学校で学ぶこと、中学校で学ぶこととそれぞれ系統たてたものがあるといいと思う。また、地域の有識者の一覧があれば先生方も使いやすいと思う。また、足立区では子どもたちが農業体験をする際には、バス代を補助している。鋸南町の子が農業体験が広くできるといいと思うし、地域の方も協力してくれる方もいるので取り組んでもらえたいと思う。」との質疑に対し、

福原教育総務室長から「かつては3つの小学校が、PTAに協力してもらい米作り体験を行っていましたが、学校の判断でやめてしまいました。現在は、地域振興課、青少年相談員、放課後子ども教室で農業体験のプログラムがありますが、社会教育で実施すると参加者は一部になってしまいます。学校が希望しなければ多くの子どもたちが参加することは難しいです。」との答弁がなされた。

篠原委員から「農業体験は簡単にできることを先生方に宣伝してほしい」との要望に対し、

福原教育総務室長から「今のお話を校長会や教頭会で、伝えさせていただきます。」との答弁がなされた。

富永教育長から「ボランティアリストは2年前に作成しました。要望があれば、申し込み用紙により教育委員会に申し込み、教育委員会は講師と調整をし、回答することとなっています。有効活用されているようではありませんし、講師等のデータがまだ少ないとも感じています。」との答弁がなされた。

- ・山野委員から「子どもたちの読書の時間は確保されているか。読む力がないと将来困ると思うので是非設けていただきたい。」との意見がなされた。

助川主任指導主事から「読書の時間はありますが、毎日ではないと思います。」との答弁がなされた。

- ・伊藤委員から「資料館の特別展「歌川スリー」良い企画だと思う。小学生を資料館に招待することはできるか。ふるさと学習として、浮世絵とはどういうものか、また、浮世絵が与えた影響なども学習すると、師宣についても認識が深まると思う。」との意見がなされた。

山口生涯学習室長から「以前、小学校で資料館に見学に来たこともあります。今回も来ていただけるとありがたいです。」との答弁がなされた。

#### 11. 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和7年1月23日

鋸南町教育委員会 教 育 長 富 永 安 男

教 育 委 員 山 野 正 人

議 事 録 作 成 事 務 局 福 原 規 生